

会員紹介 (当コーナーでは、JNSA で活躍されている会員の方に、リレー方式で自己紹介をしていただきます。)

三井物産セキュアディレクション株式会社 佐山 享史



JNSA会員の皆様、はじめまして。この度日本電気株式会社(NEC)の佐藤さんよりご紹介頂き、本コーナーを担当させて頂くことになりました三井物産セキュアディレクション株式会社(MBSD)の佐山と申します。

私は現在、テクニカルコンサルタントという肩書で、企業のITセキュリティ全般の改善を図るコンサルティング業務を行っております。「ITセキュリティ全般」と書いております通り、技術的な内容だけでなく、規程やルールの作成、教育や啓蒙など情報管理に関連する内容まで実施しています。セキュリティに関してお困りのことがありましたら、お気軽にご相談頂ければ幸いです。

私がセキュリティに携わるようになったのは10年ほど前、まだセキュリティ機器といえばファイアウォールという時代にIDS(不正検知システム)を使った不正アクセス監視サービスを立ち上げたプロジェクト(当時は三井物産の中のプロジェクトでした)に誘いを受けてからでした。24時間365日、来る日も来る日もセキュリティアラートを分析する仕事は思った以上に過酷で、救急車を呼び即入院となる、20代で痛風になる等、物理ウイルスに弱い体になっていきました(笑)。コンサルティング事業部への異動を契機に、お客様先に常駐してセキュリティ対策を推進する業務を行った後、現在は監視経験を基に主に運用、技術の両面から企業のセキュリティリスクを削減するセキュリティ専門のコンサルタントをしています。

JNSAの中では、主にISOG-J WG2に参加させて頂いております。WG2では技術的な話題を中心にお話をしているのですが、同業他社の技術者の方々と直接会話できることは貴重で非常に良い刺激となっています。今後も積極的に参加して、JNSA会員企業の皆様はもちろん、セキュリティ業界全体に貢献できればと考えておりますので、引き続きよろしくお願ひ致します。

では、最後に仕事以外の話を簡単にさせていただきます。私は小学校から野球を始め、その後もテニス、サッカー、ラグビーとずっと体育会系でした。社会人になってからもジムで継続的にトレーニングを行う日々を送っていたのですが、2年ほど前に「今までやってこなかったことにチャレンジしよう」と一念発起し、ピアノを始めました。現在も毎週ピアノ教室に通い、第二の人生を送っております。何かの機会に私の演奏を見かけることがありましたら、どうぞ温かい目で大きな拍手をお願い致します。

三菱電機情報ネットワーク株式会社 田中 朗



JNSA会員の皆様、はじめまして。三菱電機情報ネットワーク株式会社（MIND）の田中と申します。今回、日本電信電話株式会社（NTT）の南端さんから紹介を受け、本コーナーの執筆を担当することになりました。

現在私はMINDで24時間365日のセキュリティ監視運用サービスを提供する仕事をしています。製品やシステムと違い、目に見えない運用サービスのしかもセキュリティという普通の人には少し難しめのものを、お客様に理解いただくのに日々苦勞しています。セキュリティはいまや必要ということは認識されるようになりましたが、本当はお客様の事業に如何に役に立つかを説明し、納得して頂くが鍵であると信じています。

自己紹介になりますが私は昔から麻雀、トランプに始まりゲーム、パズルの類は何でも好きです。皆さんも少なからず楽しんでいるTVゲームは黎明期からの付き合いになっています。そんな中もう25年ほど楽しんでいる、数独で有名になったペンシルパズルのお話を少しさせていただきます。ペンシルパズルは自分でも手軽に作って楽しむ事ができるパズルです。パズル仲間から解く要領で同じように作る事ができることを教わって以来、自分でもいくつか作成して雑誌に投稿しています。自分で作成してわかったのは、パズルは作り手が意図を持って作られていることです。パズルを解くことは作者とのある種の戦いでもあります。解き方の迷路の中一つ一つ論理を積み重ね正解にたどり着くわけですが、途中作者の罠にはまり勘違いすると解けずにハタンすることもままあります。

セキュリティの仕事をしていると、時にこのパズルを解くのと同じ状況になっていると思えることがあります。ログを追いかけ一つ一つの事実を積み重ねて、何が起きているかを突き止め、時には攻撃者の意図を推測して、いかにしてシステムを守るかといったことを導きだすロジックはパズルを解くのとそっくりではないでしょうか。

こんな私はJNSAではセキュリティサービス事業者の協議会であるISOG-Jにて、最近のサイバー攻撃に対する対策検討に、自身の経験や現在の業務を通じて少しでも役立てればと参加しております。昨今の攻撃は複雑化、先鋭化しているためこれまでのように一組織だけで立ち向かうには限界があり、JNSAやISOG-Jさらには各種団体を通じた知識の共有を進め、連携を強めていくことが必要と感じています。JNSAの活動を通じて、皆さんが安心して利用できるインターネット、IT環境になることを目指して微力ながら一歩ずつ進んでいきたいと思っています。